

令和3年度

事業報告書
決算報告書

公益財団法人広島観光コンベンションビューロー

目 次

第1表 事業報告書

1	設立目的及び概況	1
2	役員等の状況	1
3	理事会及び評議員会の開催	7
4	職員の状況	8
5	事業の実施状況	9

第2表 決算報告書

1	貸借対照表	3 6
2	貸借対照表内訳表	3 7
3	正味財産増減計算書	3 8
4	正味財産増減計算書内訳表	4 0
5	財務諸表に対する注記	4 2
6	附属明細書	4 4
7	財産目録	4 5
8	収支計算書	4 6
9	収支計算書内訳表	4 8
10	収支計算書に対する注記	5 1

第1表 事業報告書

令和3年度公益財団法人広島観光コンベンションビューロー事業報告書 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

国内外からのコンベンション（各種会議・大会、展示会・見本市等をいう。）の誘致及び開催支援、観光客の誘致並びに観光資源の整備・開発等を行うことにより、広島県におけるコンベンション並びに広島市及びその周辺地域における観光の振興を図り、もって地域経済の活性化並びに国際相互理解の増進及び文化の向上に寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

平成7年12月1日
(平成23年9月1日 公益財団法人へ移行)

イ 基本財産

9億7,780万円

ウ 実施事業

- (ア) コンベンションの誘致、開催及びそのための支援
- (イ) コンベンションシティ広島、県内コンベンション施設等の広報及び宣伝
- (ウ) コンベンション・観光の企画、調査及び開発
- (エ) コンベンション・観光関連情報の収集及び提供
- (オ) 観光資源の整備・開発及び観光関係行事の実施
- (カ) 観光客の受入態勢の整備
- (キ) 観光宣伝・誘致活動の推進
- (ク) 広島市観光施設等の受託運営及び附帯事業の運営
- (ケ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数（令和4年3月31日現在）

理事長	1人
副理事長	3人
専務理事	1人
常務理事	2人
理事	28人
監事	2人
評議員	29人

(2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異動事項
令和 3 年 4 月 1 日	常務理事	荒 川 宣 昭	就 任
令和 3 年 4 月 1 日	理 事	出 口 寛	就 任
令和 3 年 4 月 1 日	理 事	左 近 成 弘	就 任
令和 3 年 6 月 1 5 日	監 事	曾 川 祐 治	辞 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事 長	池 田 晃 治	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	副理事長	棕 田 昌 夫	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	副理事長	仁 田 一 郎	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	副理事長	加 藤 和 行	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	専務理事	山 本 秀 樹	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	常務理事	倉 石 雅 基	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	常務理事	荒 川 宣 昭	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事	來 山 哲	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事	末 政 直 美	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事	伊 木 剛 二	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事	平 野 喜 隆	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事	小 坂 正 宏	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事	今 井 誠 則	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事	原 田 秀 二	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事	田 中 啓 勝	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事	金 井 正 樹	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事	野 住 伸 貴	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事	香 川 基 吉	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事	沖 田 和 也	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事	前 泰 弘	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事	岡 村 清 治	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事	兼 重 慎一郎	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事	出 口 寛	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事	門 屋 秀 臣	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事	面 出 成 志	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事	水 内 美 輝	重 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	理 事	井 上 一 男	重 任

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異動事項
令和 3年 6月16日	理 事	倉 田 和 典	重 任
令和 3年 6月16日	理 事	古 田 裕 三	重 任
令和 3年 6月16日	理 事	菊 池 三 春	重 任
令和 3年 6月16日	理 事	左 近 成 弘	重 任
令和 3年 6月16日	理 事	小 谷 泰 造	重 任
令和 3年 6月16日	理 事	尾 崎 康 隆	重 任
令和 3年 6月16日	理 事	中 島 和 雄	重 任
令和 3年 6月16日	監 事	大 神 崇 巧	重 任
令和 3年 6月16日	理 事	木 下 飛 星	辞 任
令和 3年 8月17日	理 事	小 櫻 顕	就 任
令和 3年 8月17日	監 事	吉 岡 敬 司	就 任
令和 3年10月31日	理 事	水 内 美 輝	辞 任
令和 3年12月 3日	理 事	西 本 かおり	就 任
令和 3年12月31日	理 事	菊 池 三 春	辞 任
令和 4年 3月 8日	理 事	兼 山 准 一	就 任
令和 4年 3月31日	理 事	倉 石 雅 基	辞 任
令和 4年 3月31日	理 事	荒 川 宣 昭	辞 任
令和 4年 3月31日	理 事	來 山 哲	辞 任
令和 4年 3月31日	理 事	末 政 直 美	辞 任
令和 4年 3月31日	理 事	左 近 成 弘	辞 任
令和 4年 3月31日	理 事	尾 崎 康 隆	辞 任
令和 4年 3月31日	監 事	大 神 崇 巧	辞 任

イ 令和4年3月31日現在の理事・監事は次のとおりである。

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
理 事 長	池 田 晃 治	令和 元年11月 9日
副 理 事 長	棕 田 昌 夫	平成25年 4月 1日
副 理 事 長	仁 田 一 郎	平成23年 9月 1日
副 理 事 長	加 藤 和 行	令和 2年 7月30日
専 務 理 事	山 本 秀 樹	令和 2年 4月 1日
常 務 理 事	倉 石 雅 基	平成29年 4月 1日
常 務 理 事	荒 川 宣 昭	令和 3年 4月 1日
理 事	來 山 哲	平成30年12月14日

役	職	氏	名	就 任 年 月 日
理	事	末	政 直 美	令和 2年 4月 1日
理	事	伊	木 剛 二	平成31年 4月 1日
理	事	平	野 喜 隆	令和 2年 1月15日
理	事	小	坂 正 宏	令和 3年 3月22日
理	事	今	井 誠 則	平成23年 9月 1日
理	事	原	田 秀 二	平成23年 9月 1日
理	事	田	中 啓 勝	令和 2年 4月 1日
理	事	金	井 正 樹	平成28年10月 4日
理	事	野	住 伸 貴	平成23年 9月 1日
理	事	香	川 基 吉	平成23年 9月 1日
理	事	沖	田 和 也	平成27年10月23日
理	事	前	泰 弘	平成23年 9月 1日
理	事	岡	村 清 治	令和 2年 4月 1日
理	事	兼	重 慎 一 郎	平成31年 4月 1日
理	事	出	口 寛	令和 3年 4月 1日
理	事	門	屋 秀 臣	令和 2年 7月16日
理	事	面	出 成 志	平成26年 3月18日
理	事	小	櫻 顕	令和 3年 8月17日
理	事	西	本 か お り	令和 3年12月 3日
理	事	井	上 一 男	平成28年10月 4日
理	事	倉	田 和 典	平成23年 9月 1日
理	事	古	田 裕 三	平成23年 9月 1日
理	事	兼	山 准 一	令和 4年 3月 8日
理	事	左	近 成 弘	令和 3年 4月 1日
理	事	小	谷 泰 造	平成23年 9月 1日
理	事	尾	崎 康 隆	平成30年 5月18日
理	事	中	島 和 雄	平成23年 9月 1日
監	事	吉	岡 敬 司	令和 3年 8月17日
監	事	大	神 崇 巧	令和 3年 1月18日

(3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動は、次のとおりである。

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異動事項
令和 3 年 4 月 1 日	評 議 員	津 村 浩	就 任
令和 3 年 4 月 1 日	評 議 員	川 口 一 成	就 任
令和 3 年 4 月 1 日	評 議 員	多 尾 敏 朗	就 任
令和 3 年 5 月 2 9 日	評 議 員	石 井 正 朗	辞 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	評 議 員	飯 沼 潔 人	就 任
令和 3 年 6 月 1 6 日	評 議 員	長谷川 信 男	就 任
令和 3 年 6 月 1 7 日	評 議 員	石 田 文 典	辞 任
令和 3 年 6 月 1 7 日	評 議 員	五 弓 博 文	辞 任
令和 3 年 6 月 2 7 日	評 議 員	山 岡 孝 典	辞 任
令和 3 年 6 月 3 0 日	評 議 員	梅 木 敏 明	辞 任
令和 3 年 6 月 3 0 日	評 議 員	佐 藤 公 俊	辞 任
令和 3 年 7 月 1 日	評 議 員	絹 川 智 紹	辞 任
令和 3 年 8 月 1 7 日	評 議 員	岡 村 清	就 任
令和 3 年 8 月 1 7 日	評 議 員	鳥 越 直 樹	就 任
令和 3 年 8 月 1 7 日	評 議 員	島 田 正 義	就 任
令和 3 年 8 月 1 7 日	評 議 員	田 沼 直 之	就 任
令和 3 年 8 月 1 7 日	評 議 員	山 口 太 一	就 任
令和 3 年 8 月 1 7 日	評 議 員	宮 迫 宏 和	就 任
令和 3 年 8 月 1 7 日	評 議 員	上原田 誠	辞 任
令和 3 年 9 月 3 0 日	評 議 員	藤 家 豊	辞 任
令和 3 年 1 0 月 1 1 日	評 議 員	伊 川 鉄 也	就 任
令和 3 年 1 2 月 3 日	評 議 員	谷 本 康 成	就 任
令和 3 年 1 2 月 3 1 日	評 議 員	杉 川 綾	辞 任
令和 4 年 1 月 1 日	評 議 員	大 野 貴 嗣	就 任
令和 4 年 1 月 3 1 日	評 議 員	橋 高 知 樹	辞 任
令和 4 年 3 月 8 日	評 議 員	増 田 泉 子	就 任
令和 4 年 3 月 3 1 日	評 議 員	尾 木 朗	辞 任

イ 令和4年3月31日現在の評議員は次のとおりである。

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
評議員 (評議員会会長)	若 林 真 一	平成31年 4月 1日
評 議 員	越 智 光 夫	平成27年 6月 1日
評 議 員	川 口 一 成	令和 3年 4月 1日
評 議 員	津 村 浩	令和 3年 4月 1日
評 議 員	植 野 実 智 成	令和 2年 1月15日
評 議 員	長 谷 川 信 男	令和 3年 6月16日
評 議 員	岡 村 清	令和 3年 8月17日
評 議 員	大 野 貴 嗣	令和 4年 1月 1日
評 議 員	野 浪 健	令和 3年 3月16日
評 議 員	増 本 義 伸	令和 2年 4月 1日
評 議 員	島 田 正 義	令和 3年 8月17日
評 議 員	田 沼 直 之	令和 3年 8月17日
評 議 員	平 瀬 春 男	平成30年 5月18日
評 議 員	飯 沼 潔 人	令和 3年 6月16日
評 議 員	伊 川 鉄 也	令和 3年10月11日
評 議 員	千 玉 敏 之	平成29年11月14日
評 議 員	鳥 越 直 樹	令和 3年 8月17日
評 議 員	赤 木 康 秀	平成31年 4月 1日
評 議 員	藏 原 潮	令和 2年 7月16日
評 議 員	辻 文 治	平成30年 5月18日
評 議 員	山 口 太 一	令和 3年 8月17日
評 議 員	増 田 泉 子	令和 4年 3月 8日
評 議 員	尾 木 朗	平成30年12月14日
評 議 員	皆 本 恭 介	令和 元年 7月29日
評 議 員	谷 本 康 成	令和 3年12月 3日
評 議 員	宮 迫 宏 和	令和 3年 8月17日
評 議 員	船 木 孝 哲	平成31年 4月 1日
評 議 員	多 尾 敏 朗	令和 3年 4月 1日
評 議 員	大 谷 博 国	平成24年 3月22日

3 理事会及び評議員会の開催

(1) 理事会

開 催 日 等	議 決 事 項
令和 3 年 4 月 1 日 (決議の省略の方法)	1 常務理事の選定
令和 3 年 5 月 28 日 (第 1 回理事会) (決議の省略の方法) 〔新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により書面審議に変更〕	1 令和 2 年度事業報告 2 令和 2 年度決算 3 事業計画の変更
令和 3 年 6 月 16 日 (決議の省略の方法)	1 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の選定 2 常勤役員の報酬月額の設定 3 会長及び顧問の委嘱の同意
令和 3 年 7 月 26 日 (決議の省略の方法)	1 主たる事務所に移転
令和 3 年 9 月 29 日 (決議の省略の方法)	1 従たる事務所の廃止
令和 3 年 11 月 25 日 (決議の省略の方法)	1 顧問の委嘱の同意
令和 4 年 1 月 31 日 (決議の省略の方法)	1 役員報酬の期末手当及び勤勉手当支給割合の変更
令和 4 年 3 月 28 日 (第 2 回理事会)	1 令和 4 年度事業計画 2 令和 4 年度収支予算

(2) 評議員会

開 催 日 等	議 決 事 項
令和 3 年 4 月 1 日 (決議の省略の方法)	1 理事の選任 2 評議員の選任
令和 3 年 6 月 1 6 日 (第 1 回評議員会) (決議の省略の方法) (新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により書面審議に変更)	1 令和 2 年度事業報告 2 令和 2 年度決算 3 事業計画の変更 4 理事の選任 5 評議員の選任
令和 3 年 8 月 1 6 日 (決議の省略の方法)	1 理事の選任 2 監事の選任 3 評議員の選任
令和 3 年 9 月 2 9 日 (決議の省略の方法)	1 評議員の選任
令和 3 年 1 2 月 3 日 (決議の省略の方法)	1 理事の選任 2 評議員の選任
令和 4 年 3 月 8 日 (決議の省略の方法)	1 理事の選任 2 評議員の選任
令和 4 年 3 月 2 8 日 (第 2 回評議員会)	1 令和 4 年度事業計画 2 令和 4 年度収支予算

4 職員の状況

令和 4 年 3 月 3 1 日現在の職員の状況は、次のとおりである。

区 分	部 長	課 主 長 幹	主 主 任 査	主 事	嘱 再 託 雇 用	合 計
企 画 総 務 部	(1)※	3	2	0	1	6
M I C E 推 進 部	4	2	0	4	1	1 1
魅 力 創 造 部	4	6	3	5	1	1 9
合 計	8	1 1	5	9	3	3 6

※ 企画総務部長は常務理事の事務取扱

5 事業の実施状況

広島観光コンベンションビューローは、これまでグローバルMICE都市にふさわしいMICEの振興及びインバウンドを中心とする観光の振興に係る施策をより積極的かつ機動的に推進してきたが、令和3年度においては、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、社会経済活動が大きく制限された中で、国内外の感染状況やインバウンドの状況を注視しながら、国内観光やMICEの需要に迅速かつ的確に対応するとともに、本格的なインバウンドやMICEの回復に備えた取組を積極的に推進したほか、様々な手法を活用し、安全・安心で、魅力的な地域の情報を発信した。

【公益目的事業】

I MICE振興事業

1 情報収集事業

(1) MICE関連機関からの情報収集

国際会議協会（ICCA）やMPI（Meeting Professionals International）、一般社団法人日本コンgres・コンベンション・ビューロー（以下「JCCB」という。）、独立行政法人国際観光振興機構（以下「JNTO」という。）及び一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）の会員となり、国際会議はもとよりインセンティブ旅行を含むMICE誘致のために有益な情報を収集し、誘致活動を行った。

- ・ 国際会議協会（ICCA）

国際会議やイベントを主催する約100か国1,100の団体が加盟する国際的な産業団体で、国際会議等の促進を図るため、国際会議の開催状況を収集・発信している。

- ・ MPI（Meeting Professionals International）

インセンティブ旅行誘致に関連するMICE専門家が多く加入している国際非営利団体で、講演会など教育プログラムを提供し業界の発展に寄与している。

- ・ 一般社団法人日本コンgres・コンベンション・ビューロー（JCCB）

日本のコンベンションを振興させることを目的に、全国各地の自治体、コンベンションビューロー、会議施設、宿泊施設、旅行会社などの団体・企業が一体となって、会員相互間の連携や国際会議の誘致促進など各種事業を実施している。

- ・ 独立行政法人国際観光振興機構（JNTO）

訪日外国人旅行者の誘致に取り組んできた日本の公的な専門機関で、日本への外国人の訪日旅行のプロモーション等や、国際コンベンションの開催地としての日本の魅力を海外で宣伝し、誘致及び主催者への会議開催を支援している。

- ・ 一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）

スポーツツーリズムによる地域振興に寄与するため、スポーツを活用した観光まちづくり、大会・合宿の招致・開催、地域資源を生かした旅行商品化などに取り組む際に、ネットワークやノウハウを会員に提供している。

(2) 顧客管理システムの運用

コンベンション調査やMICE関連機関等から収集した情報を蓄積する顧客管理システムを更新するとともに、これまで蓄積してきた学会等のデータを分析するなどして、効率的に誘致・支援活動を行った。

2 MICEの誘致・支援事業

MICE主催者に対して広島のPRや各種の誘致・支援事業を展開し、広島でのMICE開催の促進を図った。

○令和3年度MICE開催状況

区 分	国際会議	国内会議	インセンティブ旅行	合 計
MICE件数	— 件	54件	— 件	54件
参加者延べ人数	— 人	17,141人	— 人	17,141人

(1) 誘致活動の実施

ア グローバルMICE強化事業

(ア) ロビー活動支援事業

第13回アジア比較教育学会の開催地を決定する理事会に職員を派遣し、会議主催者とともにロビー活動を実施することとしていたが、理事会が新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりオンライン開催となったため、オンラインによりプレゼンテーション等を行った。



(イ) テクニカルビジットのモデル事業の実施

INORMS2021の参加者を対象に、地元企業などの産業技術や研究の実地視察及び受入企業との交流を行うモデル事業を実施することとしていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により会議がオンライン開催となったため、実施に至らなかった。

(ウ) 「AIME2022 メルボルン」への出展（オンライン参加）

福岡市及び北九州市のMICE推進機関との共同事業として実施することとしていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により単独出展となった。

- ・開催期間 令和4年3月28日（月）～4月1日（金）
- ・開催場所 オーストラリア・メルボルン
- ・参加者数 バイヤー：365人、出展者：230団体
- ・商談件数 21件 （国内会議5件、インセンティブ旅行16件）

(エ) シャトルバス等の運行助成

国際会議等の開催時に会場間又は会場と交通拠点間のシャトルバス等の運行助成を行うこととしていたが、助成対象会議が中止となったため、実施に至らなかった。

(オ) 誘致ツールの作成

会議開催の誘致・支援活動を充実させるため、MICE施設の詳しい情報やユニークベニュー等を紹介したMICEプランナーズガイドの改訂版を作成し、新たに、各施設が取り組んでいるSDGsへの対応状況をアイコンで表示した。

・作成部数 300部



(カ) グローバルMICE都市・都市力強化対策本部への参加

グローバルMICE都市（12都市）及びMICE推進機関等で構成する「グローバルMICE都市・都市力強化対策本部」に参加し、情報交換を行うこととしていたが、開催中止となった。

イ 個別誘致活動の実施

国内のMICE主催団体等に対し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、安全を確保したうえで誘致活動を行った。

(ア) 首都圏等での活動

主として、首都圏に本部を置く団体、学術会議本部、企業等に誘致活動を展開した。

・訪問件数 30件

(イ) 広島県内での活動

県内の大学及び各教育機関、各種企業・団体等に対し、誘致活動を展開した。

・訪問件数 269件

ウ 海外MICE専門見本市における誘致活動

(ア) 「IMEX 2021」への出展

・開催予定期間 令和3年5月25日(火)～27日(木)

・開催場所 ドイツ・フランクフルト

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により開催中止)

(イ) 「IMEX America 2021」への出展

・開催期間 令和3年11月9日(火)～11日(木)

・開催場所 アメリカ・ラスベガス

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により不参加)

(ウ) 「AIME2022 メルボルン」への出展（オンライン参加）【再掲】

- ・開催期間 令和4年3月28日（月）～4月1日（金）
- ・開催場所 オーストラリア・メルボルン
- ・参加者数 バイヤー：365人、出展者：230団体
- ・商談件数 21件（国内会議5件、インセンティブ旅行16件）

(エ) 「タイ インセンティブセミナー商談会」への出展（オンライン参加）【新規】

- ・開催日 令和3年11月2日（火）
- ・参加者数 バイヤー：19人、出展者：15団体
- ・商談件数 8件

(オ) 「台北 インセンティブセミナー商談会」への出展（オンライン参加）【新規】

- ・開催日 令和4年2月9日（水）
- ・参加者数 バイヤー：27人、出展者：19団体
- ・商談件数 8件

エ 国際MICEエキスポ（IME2022）への出展（オンライン参加）

国内唯一のMICE総合見本市・トレードショーである国際MICEエキスポに出展し、MICE開催の決定権を有するキーパーソンなどに対して、広島での開催を働きかけた。

- ・開催期間 令和4年2月16日（水）・17日（木）
- ・主催 JNTO、JCCB
- ・出展者数 31団体
- ・参加者数 135人

【目 標】 商談件数 20件

【実績】 商談件数 15件

【評価】 オンライン開催のため参加者数が少なくなり、商談件数は目標に達しなかったが、国内会議5件、インセンティブ旅行10件の商談を行った。

オ キーパーソンの視察受入

MICE開催の意向を有するキーパーソンの視察受入を行い、MICE施設、観光資源、受入態勢等、広島の魅力を紹介・案内することにより、広島での開催を働きかけた。

- ・視察者 2023リバティ国際世界会議のキーパーソン1人
- ・実施日 令和3年7月21日（水）

カ 広島産学公連携MICE推進協議会の運営

「広島産学公連携MICE推進協議会」及び当該協議会内に設置する「インセンティブ部会」を運営し、広島におけるMICE誘致を推進した。

- ・広島産学公連携MICE推進協議会 開催回数 2回
※うち1回は、SDGsに関する講演を併せて実施した。
- ・同協議会 インセンティブ部会 開催回数 1回



キ 中国・四国地区コンベンション推進協議会への参画

中国・四国地区のコンベンション推進機関14団体で構成する中国・四国地区コンベンション推進協議会において、コンベンションに関する情報の収集・交換を行った。

(ア) 総会への参加

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により書面審議に変更)

(イ) コンベンション誘致懇談会への出展

- ・開催予定日 令和3年12月2日(木)
- ・会場 品川プリンスホテル(東京都)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により開催中止)

ク プロモーションビデオの制作等【新規】

ホームページやSNSにより情報発信するとともに、商談等における誘致活動に活用するため、以下の2つの動画を新たに作成した。

(ア) 国際会議主催者向けプロモーション動画

「広島ならではの」をテーマに平和、多様な会議施設、豊富な宿泊施設、感動体験など、開催都市としての広島の魅力をまとめた動画(3分)

(イ) 国際会議主催者向けバーチャル視察動画

JNTOの動画制作事業に参画し、「国際会議主催者が視察にきた」というコンセプトで、移動映像により会議施設やホテル、ユニークベニュー、体験プログラム等を紹介する動画(12分)



国際会議主催者向けプロモーション動画



国際会議主催者向けバーチャル視察動画

(2) 支援活動の実施

ア コンベンション誘致助成事業

コンベンション主催者に対し、開催経費の一部を助成することにより、広島での開催を促進した。

第101回日本消化器内視鏡学会(ハイブリッド開催)

- ・開催期間 令和3年5月14日(金)～16日(日)
- ・参加者数 1,100人
※オンライン参加者数7,300人(うち海外29人、参加国数11か国)
- ・助成金額 300万円

2021年度 GA²LEN UCARE 蕁麻疹国際会議（ハイブリッド開催）

- ・開催期間 令和3年12月9日(木)～11日(土)
- ・参加者数 102人
※オンライン参加者数418人（うち海外407人、参加国数45か国）
- ・助成金額 30万円

イ コンベンション開催準備資金貸付事業

コンベンション主催者に対し、開催に必要な準備資金の貸付を行うことにより、広島での開催を促進することとしているが、該当する案件はなかった。

- ・貸付限度額：国際会議300万円、国内会議200万円

ウ 大規模会議等への支援

大規模会議等に対して、広島観光親善大使や外国語ボランティアガイドの派遣、伝統芸能等の提供、歓迎用看板等の掲出及び記念品等の提供等を行い、参加者に対し歓迎の意を表すこととしていたが、ほとんどの支援対象会議が中止となったため、JR広島駅の歓迎用看板掲出及び記念品等の提供のみの支援となった。

また、コロナ禍での会議開催支援として、検温装置の貸出しやMICEロゴマーク付きマスクの配布を行った。



JR広島駅の歓迎用看板



記念品・マスク等の提供及び検温装置の貸出し



3 広報・宣伝事業

(1) 機関紙「ひろしま観光コンベンション」の発行

コンベンションの開催やポストコンベンション情報、観光情報、ビューローの活動状況等を掲載した機関紙「ひろしま観光コンベンション」を発行し、コンベンション主催者等へ情報提供を行った。

号数	発行月	発行部数
第123号	令和3年 7月	7,200部
第124号	令和3年10月	7,200部
第125号	令和4年 1月	7,200部
第126号	令和4年 4月	7,200部

(2) ホームページの運用

ア MICE施設の情報やMICEの開催情報等を主催者等へ提供した。また、インセンティブ旅行誘致の専用ページを開設するとともに、支援メニューやモデルコースを充実し、より効果的なプロモーションを行った。

- ・アドレス <https://www.hiroshimacvb.jp/>
- ・訪問者数 71,764人
- ・ページビュー数 163,934ページビュー

イ コンベンションカレンダーの更新

広島で開催予定の会議等をまとめたカレンダーを3か月ごとに更新し、ホームページ上で公開した。

4 調査・企画事業

(1) 経済波及効果調査の実施

コンベンション主催者及び参加者に対し支出に関するアンケート調査を行い、コンベンション開催に伴う経済波及効果を算出した。

(令和3年度経済波及効果額)

総支出額	経済波及効果額	経済波及倍率
8億6,367万円	13億4,001万円	1.55倍

算定は、参加者1人当たりの支出額(主催者の支出額を含む。過去5か年平均)5万804円及び広島市産業連関表により算定した、その経済波及効果額7万8,824円のそれぞれの額に、令和3年度コンベンション延べ参加者数1万7千人を乗じた額としている。

(2) 観光・コンベンションセミナーの開催

- ・開催予定日 令和4年2月1日(火)
- ・会場 ホテルグランヴィア広島
- ・主催 (公財)広島観光コンベンションビューロー、広島商工会議所
- ・内容 テーマ 「ウィズコロナ・アフターコロナの観光戦略～アドベンチャーツーリズムの可能性～」

講師 山下 真輝氏

(一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会理事、
(株)JTB総合研究所交流戦略部長 主席研究員
佐藤 亮太氏

特定非営利活動法人湯来観光地域づくり公社理事長、
湯来町観光協会理事

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により開催中止)

II 観光振興事業

1 観光客の受入態勢整備事業

(1) 「広島トラベルマート2022」の開催

「観光客受入ビジネスフェア」の開催方法を専用ページでのオンラインによる展示商談会に切り替え、「広島トラベルマート2022」として開催した。

開催期間中、①観光関連事業者向けのセミナー(5回)、②出展者による商品紹介を目的としたプレゼンテーションセミナー(21回)、③アポイント制による商談を実施した。

- ・開催期間 令和4年2月9日(水)～2月17日(木)
- ・セミナー 2月9日(水)・14日(月)・15日(火)・16日(水) (2月9日には2回開催)
- ・プレゼンテーションセミナー 2月14日(月)・16日(水)
- ・商談日 2月15日(火)・17日(木)
- ・出展社数 25社
- ・登録者数 202人(事前登録制)
- ・延べ閲覧者数 2,735人
- ・商談件数 82件
- ・成約件数(見込みを含む) 54件



専用ページ トップページ



専用ページ 出展者紹介

(2) 食の多様化に対応できる飲食店の増強

外国人観光客の訪日が見込めない状況であったため、昨年度整備したベジタリアンメニューに対応可能な飲食店マップのインターネット広告を配信し、マップの認知度向上を図るとともに、ベジタリアンマップに対する需要などを調査した。

その結果、観光需要より健康志向に重点を置いた配信の方が効果的であることや、英語版の配信では女性より男性の方が関心が高いことなどが分かった。

・ 広告配信期間 令和3年11月1日（月）～令和4年2月6日（日）

・ リンク先

日本語版

<https://www.hiroshimacvb.jp/tourism/restaurants-map-for-vegetarians>

英語版

<https://www.hiroshimacvb.jp/en/tourism/restaurants-map-for-vegetarians>



掲載地図 (Map data ©2022 Google)

・ 広告パターン



広島市内のベジタリアンメニューがある飲食店マップ！お好みのお店を簡単に探せます。Vegetarian Guide 広島

広島観光コンベンションビューロー



ベジタリアンメニューがある飲食店マップ・Vegetarian Guide 広島

広島観光コンベンションビューロー



ベジタリアンにもおススメできるお好み焼き店もピックアップ・Vegetarian Guide 広島

広島観光コンベンションビューロー



(3) インバウンド事業道場の開催

観光事業者の人的交流ができる場を運営し、SNS上で情報提供や参加者相互の情報交換を行うとともに、「川（デルタ）に育まれた広島文化のブランド化」などをテーマとしたオンラインセミナー及び交流会を開催した。

・ 道場への登録者数 164人

【セミナー（交流会）開催実績】

開催日	内 容	参加者数
7月16日(金)	「事例で学ぶ観光プロダクトの育て方」 講師：（一社）MyJapan 代表理事 三村理紗氏	51人
7月29日(木)	「江戸時代 広島川のめぐる歴史」 講師：ヌマジ交通ミュージアム副館長 村上 宣昭氏	28人
9月9日(木)	「『宮島広島名所交通図絵』からみる水の都広島」 講師：広島市郷土資料館主任学芸員 前野 やよい氏	25人
11月18日(木)	「川がつくった広島」 講師：広島城学芸員 本田 美和子 氏	27人



セミナーの様子

2 観光資源整備・開発事業

(1) 広島市観光振興ネットワーク会議の運営

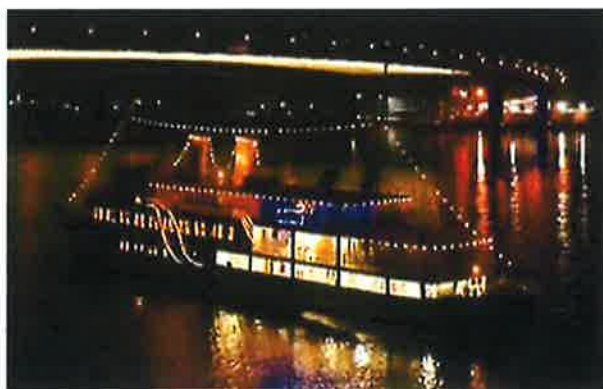
観光情報の共有や情報交換を行い、観光関係者の連携を図った。

- ・開催回数 1回（令和3年4月28日（水））

(2) 広島湾ナイトクルージングの実施

船舶事業者等で構成する実行委員会の事務局として、広島湾一帯を新たな観光ゾーンとして定着させるため、「広島湾ナイトクルージング」を実施した。

- ・期 間 令和3年7月17日(土)～9月30日(木)
- ・航 路 数 6航路
- ・乗船者数 836人



(3) 観光プロダクトの開発

当面の観光需要の回復を担う国内観光に迅速かつ的確に対応するとともに、本格的なインバウンドの回復に備えた受入態勢の充実強化を図るため、観光プロダクト開発に取り組む事業者や起業家に対し、観光プロダクト開発の計画作成や試行・マーケティング調査、広報等の支援を行った。

なお、観光庁が公募した「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」において「川(デルタ)に育まれた広島文化のブランド化」をテーマとした事業計画案を提出したが不採択となった。

ア 事業計画作成への支援

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況に応じて、職員による相談、助言を行うとともに、関係機関や関連事業者の紹介を行った。

また、外部機関が実施したイベント・行事への講師派遣やモニター参加などを行った。

【講師派遣などの実績】

実施日	案件名	支援内容
令和3年 4月16日(金)	(一社) My Japan 「ASAGESHIKI ツアー」	モニター参加 ・ ツアー内容への提言
令和3年4月～ 令和4年2月	湯来観光地域づくり公社 「アドベンチャーツーリズム コンセプト策定ワークショップ」 及び「ツアー造成検討会」	ワークショップ・ 検討会参加 ・ 企画内容への提言
令和3年6月～ 令和4年3月	中国新聞 SELECT 「道草あっちこっち」への寄稿	記事寄稿(毎月1回)
令和3年6月～ 令和4年3月	広島体験型観光事業者連合会 (HAC) への支援	発足の支援 運営の助言
令和3年 9月29日(水)	広島大学ほか 「広島都市圏観光ツアーづくり コンペティション審査会」	審査委員として出席
令和3年 10月13日(水)	広島湾域旅客船ネットワーク活用 推進協議会「河川舟運と海上交通を活用 した魅力ある観光ルートの形成」	実証実験への参加 ・ ツアー内容への提言

実施日	案件名	支援内容
令和3年 11月5日(金) 令和4年 2月18日(金) 22日(火) 25日(金)	外務省「対日理解促進交流プログラム(JENESYS)」	オンラインによる広島を紹介
令和4年 1月8日(土)	比治山大学短期大学部 観光講座 「広島の観光振興と観光プロダクト造成について」	オンラインによる講義
令和4年 3月7日(月)	日本旅行業協会中四国支部(JATA) 「広島市の魅力再発見！ PR動画コンテスト最終審査会」	審査委員として出席
令和4年 3月28日(月)	広島市「夜間・早朝の活用による にぎわい創出事業補助金」の説明会	事業者向け説明会の開催



My Japan 「Asageshiki」 ツアー



比治山大学短期大学部 観光講座
(大学からオンライン配信)

イ オンライン体験・オンラインツアーの商品化支援

オンライン体験・オンラインツアーの販売を目指す事業者に対し、企画段階から助言を行い、外部講師や関係者を交えた試行を繰り返すことで商品化への支援を行った。

【参考】

※オンライン体験・オンラインツアーとは

対面ではなく、オンラインで実施される体験やガイドツアー。

オンライン会議システムにより実施することが多く、質疑応答など主催者と参加者の間でリアルタイムでの意思疎通が行える。事前に食材や材料を用意して行う調理・ものづくりの講座や、観光地などの現地から中継しながら行うガイドツアーなどがある。

潜在的顧客に向けたプロモーションとなり、将来の来広が期待されるとともに、体験やガイドツアーに関わる特産品の購買促進にも繋がる。

(ア) 昨年度からの継続支援

昨年度、オンライン体験・オンラインツアーの販売に着手した事業者に対し、モニターへの参加や参加者募集、実施内容への助言などを行い、2者がOTA（Online Travel Agency）登録に至った。



実践モニターの様子



OTA での販売

(イ) 専門家による造成支援

新たにオンライン体験・オンラインツアーの販売に着手する事業者を公募し、応募のあった2者に対して専門家による指導を行うとともに、モニターへの参加や実施内容への助言を行った。



実践モニターの様子



OTA での販売

(ウ) 高齢者施設向け実践

コロナ禍により外出が困難な高齢者施設の入居者に対し、広島城、二葉山及び宮島のオンラインツアーを実施し、2施設20人が参加した。



広島城からの中継



宮島からの中継

ウ トラベルDXソリューション展（仮称）への共同出展

- ・開催予定日 令和3年11月
 - ・会場 インテックス大阪
- （新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により開催中止）

エ 情報発信の強化

（ア） JNTOを通じた海外への情報発信の強化

JNTOを通じて6件の情報発信を行い、オンラインによる被爆体験の伝承、「SEA SPICA」でのクルージング及び宮島でのフォトウェディングなどの案件が、JNTOシドニー事務所、ロンドン事務所及びマドリード事務所などから当地の旅行会社などに情報発信された。



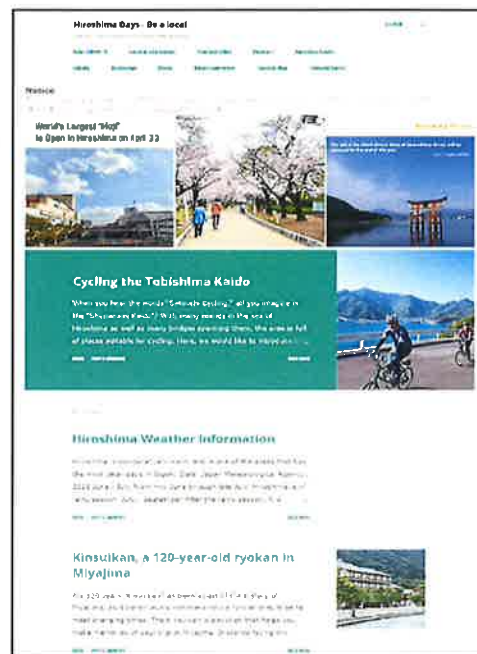
JNTO マドリード事務所の Facebook



JNTO シドニー事務所のホームページ

- (イ) 外国人観光客向けフリーペーパーの発行
昨年度に引き続きオンライン版のみで
観光プロダクトなど広島の情報発信を行った。

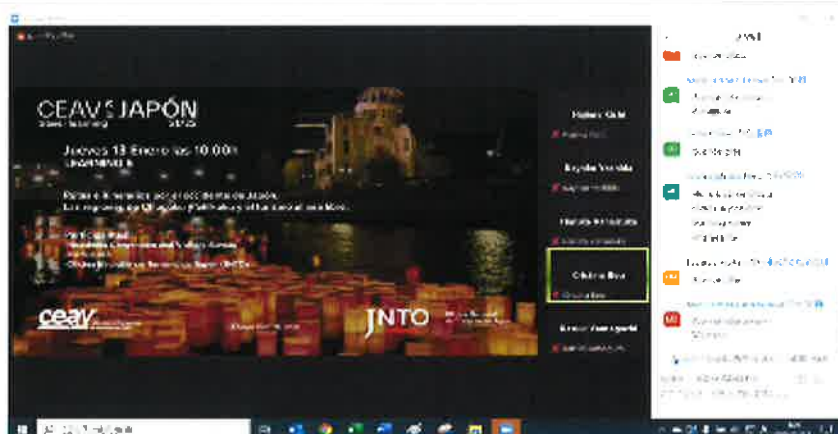
- ・名 称 Hiroshima Days - Be a Local
(<https://hiroshima-days.blogspot.com/>)
- ・言 語 英語
- ・記事掲載数 26件
- ・ページビュー数 5,311ページビュー



- (ウ) オンライン商談会への出展参加【新規】

JNTO等が実施する海外旅行会社とのオンライン商談会に出展参加し、観光プロダクトの情報発信を行った。

開催日	名 称 (主な対象市場)	実 績
令和3年 8月10日(火)～ 9月10日(金)	Th Asia & Indian Ocean Workshop 2021 (ロシア)	・ビューロー紹介ページの閲覧回数 58回 ・旅行会社からの問い合わせ件数 6件 ・旅行会社向けセミナー実施
令和3年 9月21日(火)	France-Japan Online Workshop (フランス)	・商談件数 8件
令和3年 11月10日(水) 17日(水)	Japan Virtual Roadshow 2021 (オーストラリア)	・商談件数 19件
令和4年 1月13日(木)	CEAV (スペイン旅行会社連盟) 向け オンラインセミナー (スペイン)	・事前収録したスペイン語の動画上映





CEAV（スペイン旅行会社連盟）向けオンラインセミナーの様子

3 観光宣伝・誘致活動推進事業

(1) 観光客誘致プロモーション活動

ア 国内観光客への宣伝・誘致活動

事業名	時期	備考
ツーリズムEXPOジャパンへの参加	令和3年11月25日（木） ～28日（日）	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により大阪での開催を令和5年に延期
宮島・広島・岩国・呉・廿日市共催 首都圏観光宣伝隊への参加	令和3年12月	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により開催中止
広島・宮島・岩国観光連絡協議会 観光PRイベントへの参加	令和3年12月11日（土） 25日（土）	倉敷市 広島市

広島・宮島・岩国観光連絡協議会観光PRイベントの様子



倉敷市（イオンモール倉敷）



広島市（LECT）

イ 外国人観光客への宣伝・誘致活動

事業名	時期	備考
VISIT JAPAN トラベルマートへの参加	令和4年3月1日(火) ～3日(木)	オンライン開催
JNTOインバウンド 旅行振興フォーラムへの参加	令和3年9月13日(月) ～17日(金)	オンライン開催
中国地方インバウンド商談会 への参加	令和4年2月14日(月) ～17日(木)	当財団行事と重なった ため、不参加

JNTOのロサンゼルス、フランクフルト、ドバイの海外事務所を情報拠点として活用し、観光ガイドマップ等を現地の旅行会社や一般消費者へ配布し、広島
のPRを行った。

JNTO海外事務所	ようこそ！広島へ		きんさいひろしま (英語)
	言語	配布部数	配布部数
ロサンゼルス事務所	英語	200部	200部
フランクフルト事務所	ドイツ語	400部	—
ドバイ事務所	英語	50部	—

※「ようこそ！広島へ」… 着地型パンフレット(広島を周遊してもらうことを目的としたパンフレット)
「きんさい ひろしま」… 発地型パンフレット(広島へ来てもらうことを目的としたパンフレット)

ウ SNSによる情報発信

SNSを活用し、国内外へ最新情報を始めとする様々な情報を発信することにより、広島への観光客誘致を推進した。

- ・種類 Twitter、Facebook、Instagram、YouTube
- ・総フォロワー数 18,187人

(2) 地域観光の推進

(観光情報を発信する祭り・イベント等への支援)

ア 第33回湯の山温泉桜まつり

- ・開催予定日 令和3年4月初旬
- ・会場 クアハウス湯の山前特設会場ほか
- ・実施主体 湯の山温泉まつり実行委員会
(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により開催中止)

イ 第30回湯来温泉ホテルまつり

- ・開催予定日 令和3年6月下旬
- ・場所 湯来交流体験センター
- ・実施主体 湯来温泉観光商工同業組合
(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により開催中止)

(3) 観光宣伝物作成

着地型パンフレット「ようこそ！広島へ観光ガイドマップ」を作成し、市内外の観光案内所、宿泊施設、商業施設などに配布することで、広島への観光客誘致を推進した。

区 分	名 称	言 語	数 量
国内向け 観光 パンフレット	ようこそ！広島へ 観光ガイドマップ	日本語	180,000部

※「ようこそ！広島へ 観光ガイドマップ」外国語版及び「きんさいひろしま」日本語版・英語版については、在庫があったため、作成していない。

(4) 親善交流

観光親善大使を含む訪問団を結成して広島市と相互交流のある都市を訪れ、行政・メディア・観光協会等関係機関への観光PRを実施するとともに、親善訪問団の受入れを実施することにより、都市間の親善交流を図ることとしていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、全て中止となった。

ア 親善訪問

名 称	時 期
第33回浜田市親善訪問	令和3年8月（中止）
第40回沖縄親善訪問	令和3年8月（中止）
第41回北広島市親善訪問	令和3年9月（中止）

イ 親善訪問団受入

名 称	時 期
沖縄市 GO ナイター	令和3年10月1日（金）（中止）
北広島市子ども大使	令和3年8月（中止）

(5) 観光親善大使による観光宣伝活動

広島市の代表にふさわしい意欲あふれる観光親善大使3人を選考し、観光関連事業において観光PRを行うとともに、広島観光親善大使ブログ等SNSによる情報発信を行い、広島への観光客誘致を推進した。

【実 績】 派遣件数 20件



映画『ドライブ・マイ・カー』公開カウントダウン



新旧親善大使交代式



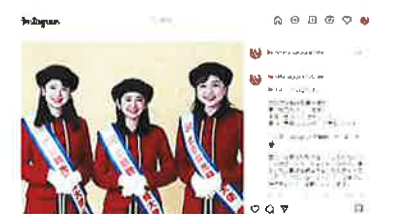
よしもと紙屋町劇場誕生20周年記念イベント



大使ブログ



大使フェイスブック



大使インスタグラム

4 観光施設管理運営等受託事業

(1) 観光案内所の運営

ア 紙屋町地下街（シャレオ）内観光案内所の運営

広島市及びその周辺地域を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により休業した期間（136日間）以外は、年中無休で運営した。

(ア) 運営時間 11:00～17:00

(イ) 案内件数 4,247件（うち外国人対応184件）

※当観光案内所は、JNTOから、広域案内かつ常時英語対応可を要件とする「外国人観光案内所」カテゴリー2として認定されている。

イ 広島市観光案内所の総合的な運営支援【新規】

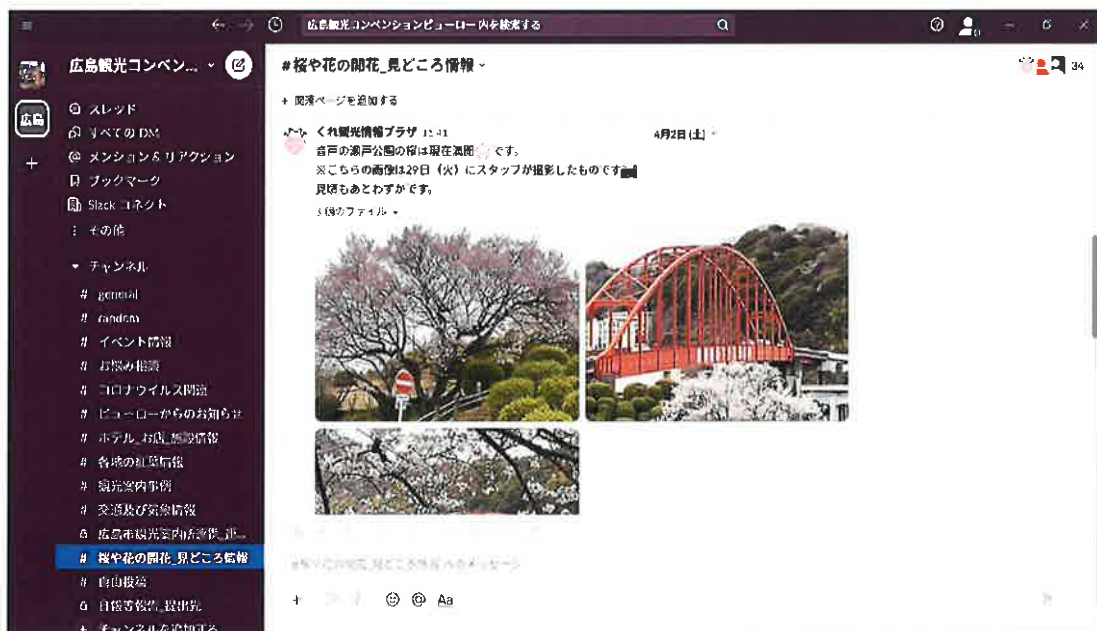
広島市が設置する全ての観光案内所（5か所）の機能向上と連携促進を図るため、総合的な運営支援を行った。

- ・日報等の情報共有による案内サービスの充実
- ・連携推進会議を通じた観光案内所スタッフ間の交流促進による運営の円滑化など

※広島市観光案内所：広島駅総合案内所、バスセンター総合案内所、
広島港総合案内所、平和記念公園レストハウス観光案内所、
紙屋町地下街（シャレオ）内観光案内所

ウ 広島広域都市圏内の観光案内所等との連携強化

広島市、呉市など10市町の観光案内所等との連携を図り、コミュニケーションツールである「Slack」を活用し、タイムリーな観光情報を共有することにより、観光客の利便性の向上や相互送客を図り、観光客に満足と安心を与える環境を整備するとともに、広域都市圏内での周遊を促進するよう取り組んだ。



Slack画面

(2) 来広観光客等動向調査

来広観光客の質的構成や動態をアンケート等により調査するとともに、広島市の観光情報に係る観光概況データを収集した。

ア 来広観光客アンケート調査

年4回（7月30日(金)、10月29日(金)、11月26日(金)、12月10日(金))、広島市を訪れた観光客を対象にアンケート調査を行った。（回収数297人）

イ 入込観光客調査

宿泊、観光施設及び交通機関等を対象に入込観光客調査（回収数301件）を行った。

(3) ひろしまライトアップ事業の運営その他

「広島祭委員会」、「ひろしまライトアップ事業実行委員会」の事務局分室を設置し、下記の事業を開催することにより、広島への観光客誘致を推進した。

名 称	主 催	開催期間等	備 考
2021 ひろしまフラワー フェスティバル	ひろしまフラワーフェスティバル実行委員会	令和3年5月3日（月） ～5日（水） 〔新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、縮小開催〕	・平和大通りでのパレード及び広場展開等の実施見送り ・旧市民球場跡地でのステージ展開（無観客）
大文字まつり	広島祭委員会、大文字保存会、中国新聞社	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により開催中止	
七夕まつり	広島祭委員会、広島市商店街連合会、中国新聞社	令和3年7月1日（木） ～7月10日（土）	6商店街で実施
広島湾ナイトクルージング	広島湾ナイトクルージング実行委員会	令和3年7月17日（土） ～9月30日（木）	（再掲）
2021 広島みなと 夢 花火大会	広島祭委員会、広島港まつり委員会、広島観光コンベンションビューロー、中国新聞社	オリンピック開催予定日と重なり、警備等観覧者の安全確保の観点等から開催中止	
ピースメッセージ とうろう流し	広島祭委員会、広島市商店街連合会、中国新聞社	令和3年8月6日（金） 〔新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、縮小開催〕	・セレモニー及び主催者による流灯 ・一般参加者の流灯は中止
広島城大菊花展	広島祭委員会、広島菊友会、広島市、中国新聞社	令和3年10月23日（土） ～11月7日（日） 〔新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、一部内容変更〕	・箏曲コンサートの中止 （来場者数） 4万1千人

名 称	主 催	開催期間等	備 考
広島ドリーム花火 2021	広島祭委員会、広島観光 コンベンションビューロー、 中国新聞社、廿日市市	令和3年12月11日(土) 第1景 「まちじゅう花火：奇跡の一夜」	・市内等17か所で サプライズ花火の 打ち上げ
		令和4年1月29日(土) 第2景 「まちなか花火：ファンタジーツアー」 〔新型コロナウイルス感染症の 感染拡大の影響により、縮小 開催〕	・旧市民球場跡地で のステージパフォー マンス、玩具花 火の展開(無観客)
ひろしま ドリミネーション 2021	ひろしまライトアップ 事業実行委員会	令和3年11月17日(水) ～令和4年1月3日(月) 〔新型コロナウイルス感染症の 感染拡大防止の観点から、一 部内容変更〕	・パレードの中止 ・オープンカフェの 中止 (来場者数) 67万8千人



ひろしまフラワーフェスティバル



広島城大菊花展



広島ドリーム花火



ひろしまドリミネーション

(4) ホームページの運営

広島への観光客誘致を推進するため、広島広域観光情報サイト「ひろたび」(<https://www.hiroshima-navi.or.jp/>) 及び「Explore Hiroshima」を運営するとともに、SNS(日本語、英語)を活用した国内外への最新情報の発信により、広島への観光客誘致を推進した。

また、同サイトに導入した「旅の提案」機能を活用し、観光客の利便性を高め、観光施設の利用促進及び広域周遊の促進を図ることにより、滞在時間の延長と消費拡大を図るよう取り組んだ。

【広島広域観光情報サイト「ひろたび」及び「Explore Hiroshima」の運用実績】

- ・種類 日本語版、英語版、中国語版（簡体字版・繁体字版）、ハンガール版、フランス語版、ドイツ語版、タイ語版
全言語スマートフォン対応

- ・訪問者数 249万人
- ・ページビュー数 427万ページビュー

【SNSの活用状況】（再掲）

- ・種類 Twitter、Facebook、Instagram、YouTube
- ・総フォロワー数 18,187人

(5) フィルム・コミッション事業の運営

広島での映画、テレビドラマ等のロケ撮影の誘致・支援を行い、広島発の映像情報の発信などにより、広島のイメージアップを図るとともに、広島への観光客誘致を推進した。

ア ロケ撮影の誘致

映画監督、プロデューサー等の映像制作者が一堂に集う国内外のトレードショーや映画祭を面談の機会と捉え、映像制作者のアポイントを取って個別にロケ撮影誘致活動を行った。

区分	事業名	期間	場所
映像関連イベント	上海国際フィルム・マーケットSIFF (オンライン参加)	令和3年6月6日(日) ～14日(月)	上海
	マルシェ・ドウ・フィルム 【カンヌ国際映画祭関連】(オンライン参加)	令和3年7月6日(火) ～15日(木)	カンヌ (フランス)
	アジア・コンテンツ・アンド・フィルム・マーケット 【釜山国際映画祭関連】(オンライン参加)	令和3年10月11日(月) ～14日(木)	釜山
	JFC全国ロケ地フェア(オンライン参加)	令和3年10月14日(木) ・15日(金)	東京
	JFC全国ロケ地フェア	令和3年10月25日(月)	東京
	ジャパン・コンテンツ・ショーケース 【東京国際映画祭関連】(オンライン参加)	令和3年10月30日(土) ～11月8日(月)	東京
	広島国際映画祭の参加映像制作者への誘致活動	令和3年11月19日(金) ～21日(日)	広島
	JFC全国ロケ地フェア	令和4年1月17日(月)	東京
	香港フィルマート2022(オンライン参加)	令和4年3月14日(月) ～17日(木)	香港
映像制作者訪問等による誘致活動		随時	東京ほか

【実績】誘致件数 6件(内訳：映画3件、ドキュメンタリー映画1件、その他2件)



広島国際映画祭の参加映像制作者及び来場者

イ ロケ撮影の支援

ロケ地情報の提供、施設の使用調整・許可申請手続、ボランティア・エキストラの募集、ロケハン同行・ロケ撮影立会等を行い、ロケ撮影を支援した。

区 分	支 援 件 数
映画	5件
テレビドラマ	66件
WEB	44件
その他（プロモーションビデオ、雑誌 等）	80件
計	195件

※主な支援作品

- ・映画「HOMESTAY」（瀬田なつき監督）
- ・映画「こちらあみ子」（森井勇佑監督）
- ・映画「飛べない風船」（宮川博至監督）
- ・テレビドラマ「僕もアイツも新郎です」（田中耕司監督） ほか



映画「HOMESTAY」のロケ撮影風景



映画「こちらあみ子」のロケ撮影風景

ウ ロケ撮影支援作品を活用したプロモーション活動・ロケ撮影環境の整備

市民に対しロケ撮影に関する講演会やパネル展の開催及びメールマガジンによる情報発信等のプロモーション活動を行い、フィルム・コミッション事業に対する理解・協力を促すとともに、関係支援団体とも連携を図って、ロケ撮影のしやすい環境づくりを行った。

- (ア) 広島フィルム・コミッションPRパネル展の開催
- ・映画「ドライブ・マイ・カー」ロケ撮影風景パネル展
会場：トゥモロウスクエア（ひろぎんHD本社ビル）、
Kamiyacho Base(シャレオ)、安公民館ほか
 - ・映画「吟ずる者たち」ロケ撮影風景パネル展
会場：安佐北区役所、可部公民館ほか
- (イ) 広島国際映画祭でのPR
- ・広島に関連する4作品の上映及びゲストトークショーを開催
 - ・広島フィルム・コミッションPRパネル等の展示



ゲストトークショー（濱口竜介監督）



広島フィルム・コミッションPRパネル展

- (ウ) フィルム・コミッション業務に関連する一般向けセミナー(JFC主催)の開催
- 森ガキ侑大映画監督を招聘してのゲストトーク、フィルム・コミッション業務についてのパネルディスカッション等を開催

エ 映像コンテンツ販売の支援

広島を題材に撮影された映像コンテンツの販売促進を支援した。

事業名	期間	場所
上海国際フィルム・マーケットS I F F (オンライン参加)	令和3年6月6日(日) ～14日(月)	上海
アジア・コンテンツ・アンド・フィルム・マーケット 【釜山国際映画祭関連】 (オンライン参加)	令和3年10月11日(月) ～14日(木)	釜山
ジャパン・コンテンツ・ショーケース 【東京国際映画祭関連】 (オンライン参加)	令和3年10月30日(土) ～11月8日(月)	東京
香港フィルマート2022 (オンライン参加)	令和4年3月14日(月) ～17日(木)	香港

オ フィルム・コミッション間の連携

国際フィルムコミッショナーズ協会(AFCI)、アジア・フィルムコミッション・ネットワーク(AFCNet)、ジャパン・フィルムコミッション(JFC)、フィルム・コミッション中国ブロック会議に参加することなどにより、意見交換や情報収集に努めた。

また、近隣地域のフィルム・コミッション、自治体と連携するとともにJFCエリアマネージャーの一員としてロケ撮影誘致やロケ撮影支援等を行った。

(6) 観光宣伝物作成

着地型パンフレット「ようこそ！広島へ観光ガイドマップ」を作成し、広島市が設置する街角観光案内所「トラベルパル」及び「トラベルパル・インターナショナル」などで配布した。

また、広島フィルム・コミッションがこれまで誘致・支援した映画のロケ地を紹介するロケ地マップ「ひろシネマっぷ」を作成し、市内外の観光案内所等に配布することにより、広島への観光客を誘致するとともに観光客の周遊促進を図るよう取り組んだ。

パンフレットの名称	言語	数量
ようこそ！広島へ観光ガイドマップ	日本語	108,000部
広島フィルム・コミッションロケ地マップ 「ひろシネマっぷ」【新規】	日本語	5,000部

※「ようこそ！広島へ 観光ガイドマップ」外国語版については、在庫があったため、作成していない。



広島フィルム・コミッションロケ地マップ
「ひろシネマっぷ」

【その他】

I その他事業

1 賛助会員向け事業

(1) 会報の発行

コンベンションの開催情報や当ビューローの活動状況等を掲載した会報「Monthly News」を発行し、賛助会員等へ情報提供を行った。（毎月500部）

(2) 優良従業員表彰の実施

賛助会員の企業・団体に勤務する優秀な従業員を表彰し、観光事業及びコンベンション振興事業の健全な発展及び観光客への接遇向上を図った。

- ・開催予定日 令和4年2月4日(金)
- ・会場 広島商工会議所
- ・受賞者数 31人(13社)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により表彰式を中止し、表彰状は各法人を通じて受賞者へ手交)

2 職員の研修事業

JNTO等が主催する実務担当職員を対象とした研修会等に職員を参加させ、MICE誘致や開催ノウハウを習得させた。

- ・第60回ICCA年次総会 ハブ会議（アジア・パシフィック）長崎
開催期間 令和3年10月25日(月)～27日(水)
参加人数 1人
- ・2021年度下期 JCCB人材育成研修会（オンライン）
開催期間 令和4年2月1日(火)
参加人数 1人
- ・JNTO オンラインMICEセミナー～ADVANCED～
開催期間 令和4年2月22日(火)～25日(金)
参加人数 2人

3 観光資源の維持管理

観光ライトアップ設備（15か所）、観光サイン（628基）及び「灯和の径」（57灯）等の維持管理を行った。

【法人会計】

主たる事務所の移転

組織を一体化して事務局機能を充実強化するとともに、広島県観光連盟や広島商工会議所等関係機関との連携強化を図るため、令和3年8月1日に企画総務部及びMICE推進部の事務所を、広島国際会議場から広島商工会議所ビルに移転した。

(参考)

無償使用貸借資産

事業を実施するに当たって、広島市から無償使用貸借している資産は次のとおりである。

(令和4年3月31日現在)

名 称	所 在 地	区分	現 在 高
広島国際会議場	中区中島町1番5号	土地	駐車場 12.50㎡
広島商工会議所	中区基町5番地2	建物	事務室等 580.172㎡

第2表 決算報告書

決 算 報 告 書
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

貸 借 対 照 表
令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
(1) 現金預金	62,596,889	54,346,978	8,249,911
(2) 前払金	110,000	30,000	80,000
(3) 貯蔵品	155,711	224,595	△ 68,884
流動資産合計	62,862,600	54,601,573	8,261,027
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	972,044,760	972,044,760	0
定期預金	5,755,240	5,755,240	0
基本財産合計	977,800,000	977,800,000	0
(2) その他固定資産			
車両運搬具	1,370,510	2	1,370,508
什器備品	5	5	0
電話加入権	446,920	446,920	0
敷金	0	1,818,000	△ 1,818,000
長期貸付金	0	1,000,000	△ 1,000,000
その他固定資産合計	1,817,435	3,264,927	△ 1,447,492
固定資産合計	979,617,435	981,064,927	△ 1,447,492
資産合計	1,042,480,035	1,035,666,500	6,813,535
II 負債の部			
1 流動負債			
(1) 未払金	35,931,148	36,968,555	△ 1,037,407
(2) 未払消費税等	2,415,000	1,407,100	1,007,900
(3) 前受金	30,000	0	30,000
(4) 預り金	2,480,164	2,528,114	△ 47,950
(5) 賞与引当金	9,682,765	9,421,470	261,295
流動負債合計	50,539,077	50,325,239	213,838
2 固定負債			
(1) 長期借入金	0	1,000,000	△ 1,000,000
(2) 退職給付引当金	89,108,613	81,657,879	7,450,734
固定負債合計	89,108,613	82,657,879	6,450,734
負債合計	139,647,690	132,983,118	6,664,572
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
(1) 寄付金（広島市）	977,800,000	977,800,000	0
指定正味財産合計	977,800,000	977,800,000	0
（うち基本財産への充当額）	(977,800,000)	(977,800,000)	0
2 一般正味財産	△ 74,967,655	△ 75,116,618	148,963
正味財産合計	902,832,345	902,683,382	148,963
負債及び正味財産合計	1,042,480,035	1,035,666,500	6,813,535

貸借対照表内訳表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業 会 計	収益事業等 会 計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1 流動資産					
(1) 現金預金	40,822,622	21,570,095	204,172		62,596,889
(2) 前払金	25,700		84,300		110,000
(3) 貯蔵品	91,399		64,312		155,711
流動資産合計	40,939,721	21,570,095	352,784	0	62,862,600
2 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	862,203,703	56,378,595	53,462,462		972,044,760
定期預金	5,104,897	333,805	316,538		5,755,240
基本財産合計	867,308,600	56,712,400	53,779,000	0	977,800,000
(2) その他固定資産					
車両運搬具	1,370,510				1,370,510
什器備品	5				5
電話加入権	393,290	22,346	31,284		446,920
その他固定資産合計	1,763,805	22,346	31,284	0	1,817,435
固定資産合計	869,072,405	56,734,746	53,810,284	0	979,617,435
資産合計	910,012,126	78,304,841	54,163,068	0	1,042,480,035
II 負債の部					
1 流動負債					
(1) 未払金	28,957,456	309,498	6,664,194		35,931,148
(2) 未払消費税等	2,234,900	180,100			2,415,000
(3) 前受金			30,000		30,000
(4) 預り金	2,213,325	22,962	243,877		2,480,164
(5) 賞与引当金	8,414,141	271,065	997,559		9,682,765
流動負債合計	41,819,822	783,625	7,935,630	0	50,539,077
2 固定負債					
(1) 退職給付引当金			89,108,613		89,108,613
固定負債合計	0	0	89,108,613	0	89,108,613
負債合計	41,819,822	783,625	97,044,243	0	139,647,690
III 正味財産の部					
1 指定正味財産					
(1) 寄付金（広島市）	867,308,600	56,712,400	53,779,000		977,800,000
指定正味財産合計	867,308,600	56,712,400	53,779,000	0	977,800,000
（うち基本財産への充当額）	(867,308,600)	(56,712,400)	(53,779,000)		(977,800,000)
2 一般正味財産	883,704	20,808,816	△ 96,660,175	0	△ 74,967,655
正味財産合計	868,192,304	77,521,216	△ 42,881,175	0	902,832,345
負債及び正味財産合計	910,012,126	78,304,841	54,163,068	0	1,042,480,035

正 味 財 産 増 減 計 算 書
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	13,124,078	17,021,419	△ 3,897,341	
② 受取会費				
賛助会費受取会費	11,475,000	11,752,500	△ 277,500	
③ 事業収益	82,504,082	79,312,917	3,191,165	
広告事業収益	1,089,600	1,389,000	△ 299,400	
観光親善大使派遣事業収益	162,000	49,000	113,000	
広島市受託収益	81,252,482	77,874,917	3,377,565	
④ 受取負担金				
受取負担金	324,203	360,000	△ 35,797	
⑤ 受取補助金等				
受取広島市補助金	196,752,782	187,908,859	8,843,923	
⑥ 雑収益	460,182	236,680	223,502	
受取利息	182	424	△ 242	
雑収益	460,000	236,256	223,744	
経常収益計	304,640,327	296,592,375	8,047,952	
(2) 経常費用				
① 事業費	249,339,872	244,604,838	4,735,034	
役員報酬	8,099,551	8,090,640	8,911	
給料手当等	148,430,443	140,258,292	8,172,151	
賞与引当金繰入額	8,685,206	8,418,670	266,536	
退職給付費用	308,400	308,400	0	
福利厚生費	26,944,955	27,018,012	△ 73,057	
賃金	5,038,322	5,078,146	△ 39,824	
報償費	494,313	777,924	△ 283,611	
普通旅費	832,100	1,074,793	△ 242,693	
消耗品費等	3,564,372	2,735,518	828,854	
燃料費	149,307	109,134	40,173	
食糧費	102,276	157,085	△ 54,809	
光熱水費	901,818	956,972	△ 55,154	
修繕料	531,635	568,090	△ 36,455	
通信運搬費	1,519,677	1,071,017	448,660	
手数料等	583,770	674,251	△ 90,481	
保険料	291,930	309,570	△ 17,640	
減価償却費	23,229	0	23,229	
委託料	18,984,003	23,712,756	△ 4,728,753	
使用料及び賃借料	4,359,768	5,149,838	△ 790,070	
備品購入費	163,900	611,500	△ 447,600	
負担金、補助及び交付金	14,843,897	13,521,430	1,322,467	
公課費	4,487,000	4,002,800	484,200	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
② 管理費	55,201,491	51,953,460	3,248,031	
役員報酬	7,039,793	7,032,052	7,741	
給料手当等	11,466,992	11,187,586	279,406	
賞与引当金繰入額	997,559	1,002,800	△ 5,241	
退職給付費用	7,699,196	9,254,278	△ 1,555,082	
福利厚生費	3,789,068	3,937,557	△ 148,489	
賃金	1,574,326	1,579,534	△ 5,208	
報償費	90,000	96,000	△ 6,000	
消耗品費等	727,622	481,368	246,254	
食糧費	12,696	19,214	△ 6,518	
光熱水費	208,761	829,007	△ 620,246	
通信運搬費	1,071,498	747,604	323,894	
手数料等	232,350	147,900	84,450	
委託料	6,024,335	1,093,063	4,931,272	
使用料及び賃借料	7,008,060	10,805,290	△ 3,797,230	
備品購入費	1,892,770	44,000	1,848,770	
負担金、補助及び交付金	3,465,115	3,630,407	△ 165,292	
補償補填・賠償金	10,350	0	10,350	
過年度補助金返還金支出	1,818,000	0	1,818,000	
公課費	73,000	65,800	7,200	
経常費用計	304,541,363	296,558,298	7,983,065	
評価損益等調整前当期経常増減額	98,964	34,077	64,887	
当期経常増減額	98,964	34,077	64,887	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	49,999	0	49,999	
車両運搬具売却益	49,999	0	49,999	
経常外収益計	49,999	0	49,999	
(2) 経常外費用				
貸倒損失	0	285,000	△ 285,000	
経常外費用計	0	285,000	△ 285,000	
当期経常外増減額	49,999	△ 285,000	334,999	
他会計振替額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	148,963	△ 250,923	399,886	
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	148,963	△ 250,923	399,886	
一般正味財産期首残高	△ 75,116,618	△ 74,865,695	△ 250,923	
一般正味財産期末残高	△ 74,967,655	△ 75,116,618	148,963	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	977,800,000	977,800,000	0	
指定正味財産期末残高	977,800,000	977,800,000	0	
III 正味財産期末残高	902,832,345	902,683,382	148,963	

正味財産増減計算書内訳表
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科	目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
		MICE振興事業	観光振興事業	小計	ネット販売運営事業	その他事業	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1 経常増減の部										
(1) 経常収益										
① 基本財産運用益										
基本財産受取利息		9,084,895	2,556,162	11,641,057		761,198	761,198	721,823		13,124,078
② 受取会費										
費助会費受取会費		664,000	5,745,000	5,745,000		0	0	5,730,000		11,475,000
③ 事業収益		664,000	74,265,128	74,929,128		7,574,954	7,574,954			82,504,082
広告事業収益			425,600	1,089,600						1,089,600
観光親善大使派遣事業収益			162,000	162,000						162,000
広島市受託収益			73,677,528	73,677,528		7,574,954	7,574,954			81,252,482
④ 受取負担金									0	
受取負担金		9,203	315,000	324,203						324,203
⑤ 受取補助金等										
受取広島市補助金		77,316,888	74,760,279	152,077,167		172	172	44,675,615		196,752,782
⑥ 雑収益		0	400,010	400,010		172	172	60,000		460,182
雑収益		0	400,000	400,000				60,000		460,000
経常収益計		87,074,986	158,041,579	245,116,565	0	8,336,324	8,336,324	51,187,438	0	304,640,327
(2) 経常費用										
① 事業費										
役員報酬		84,765,481	156,427,531	241,193,012		8,146,860	8,146,860			249,339,872
給料手当等		3,557,749	4,541,802	8,099,551						8,099,551
賞与引当金繰入額		48,598,197	96,189,915	144,788,112		3,642,331	3,642,331			148,430,443
退職給付費用		2,968,877	5,445,264	8,414,141		271,065	271,065			8,685,206
福利厚生費		96,000	212,400	308,400						308,400
賃金		9,103,188	17,219,459	26,322,647		622,308	622,308			26,944,955
報償費		1,256,846	3,643,458	4,900,304		138,018	138,018			5,038,322
普通旅費		9,200	485,113	494,313						494,313
消耗品費等		484,340	299,140	783,480		48,620	48,620			832,100
燃料費		2,167,787	1,215,675	3,383,462		180,910	180,910			3,564,372
食糧費		70,977	78,330	149,307						149,307
光熱水費		29,646	72,630	102,276						102,276
修繕料			88,335	88,335		901,818	901,818			901,818
通信運搬費		662,749	683,773	1,346,522		443,300	443,300			531,635
手数料等		28,710	549,060	577,770		173,155	173,155			1,519,677
保険料		117,670	174,260	291,930		6,000	6,000			583,770
減価償却費		23,229		23,229						23,229
委託料		3,771,196	13,901,420	17,672,616		1,311,387	1,311,387			18,984,003
使用料及び賃借料		1,427,884	2,931,884	4,359,768						4,359,768
備品購入費		163,900		163,900		92,448	92,448			163,900
負担金、補助及び交付金		10,186,036	4,565,413	14,751,449						14,843,897
公費費		41,300	4,130,200	4,171,500		315,500	315,500			4,487,000

科	目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
		MICE振興事業	観光振興事業	小計	以心ハウス売店運営事業	その他事業			
②	管理費						55,201,491		55,201,491
	役員報酬						7,039,793		7,039,793
	給料手当等						11,466,992		11,466,992
	賞与引当金繰入額						997,559		997,559
	退職給付費用						7,699,196		7,699,196
	福利厚生費						3,789,068		3,789,068
	賃金						1,574,326		1,574,326
	報償費						90,000		90,000
	消耗品費等						727,622		727,622
	食糧費						12,696		12,696
	光熱水費						208,761		208,761
	通信運搬費						1,071,498		1,071,498
	手数料等						232,350		232,350
	委託料						6,024,335		6,024,335
	使用料及び賃借料						7,008,060		7,008,060
	備品購入費						1,892,770		1,892,770
	負担金、補助及び交付金						3,465,115		3,465,115
	補償補填・賠償金						10,350		10,350
	過年度補助金返還金支出						1,818,000		1,818,000
	公課費						73,000		73,000
経常費用計		84,765,481	156,427,531	241,193,012	0	8,146,860	55,201,491	0	304,541,363
評価損益等調整前当期経常増減額		2,309,505	1,614,048	3,923,553	0	189,464	△ 4,014,053	0	98,964
当期経常増減額		2,309,505	1,614,048	3,923,553	0	189,464	△ 4,014,053	0	98,964
2 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
固定資産売却益		49,999		49,999			0	0	49,999
車両運搬具売却益		49,999		49,999			0	0	49,999
経常外収益計		49,999	0	49,999	0	0	0	0	49,999
(2) 経常外費用									
経常外費用計		0	0	0			0	0	0
当期経常外増減額		49,999	0	49,999			0	0	49,999
他会計振替額				0			0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額		2,359,504	1,614,048	3,973,552	0	189,464	△ 4,014,053	0	148,963
法人税、住民税及び事業税							0	0	0
当期一般正味財産増減額		2,359,504	1,614,048	3,973,552	0	189,464	△ 4,014,053	0	148,963
一般正味財産期首残高		8,227,216	△ 11,317,064	△ 3,089,848	20,676,527	△ 57,175	△ 92,646,122		△ 75,116,618
一般正味財産期末残高		10,586,720	△ 9,703,016	883,704	20,676,527	132,289	△ 96,660,175	0	△ 74,967,655
指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額		0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高		867,308,600	0	867,308,600	0	56,712,400	53,779,000	0	977,800,000
指定正味財産期末残高		867,308,600	0	867,308,600	0	56,712,400	53,779,000	0	977,800,000
正味財産期末残高		877,895,320	△ 9,703,016	868,192,304	20,676,527	56,844,689	△ 42,881,175	0	902,832,345

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券は取得価額による原価法を採用している（償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していない。）。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価の切り下げの方法により算定）によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

車両運搬具及び什器備品……定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金……職員の賞与の支給に備えるため、支給対象期間に対応する支給見込額を計上している。

退職給付引当金……職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	972,044,760	0	0	972,044,760
定期預金	5,755,240	0	0	5,755,240
合 計	977,800,000	0	0	977,800,000

3 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産 からの充当額）	（うち一般正味財 産からの充当額）	（うち負債に 対応する額）
基本財産				
投資有価証券	972,044,760	(972,044,760)	(ー)	(ー)
定期預金	5,755,240	(5,755,240)	(ー)	(ー)
合 計	977,800,000	(977,800,000)	(ー)	(ー)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	2,572,738	1,202,228	1,370,510
什器備品	851,581	851,576	5
合 計	3,424,319	2,053,804	1,370,515

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第 5 1 回利付国債	45,433,280	40,907,800	△ 4,525,480
第 1 0 9 回利付国債	295,413,000	337,560,000	42,147,000
第 1 2 1 回利付国債	296,391,000	343,770,000	47,379,000
第 1 5 9 回利付国債	80,601,480	82,733,400	2,131,920
第 1 6 4 回利付国債	59,676,000	59,862,000	186,000
第 1 7 4 回利付国債	194,530,000	191,280,000	△ 3,250,000
合 計	972,044,760	1,056,113,200	84,068,440

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
コンベンション振興事業補助金	広島市	0	63,626,465	63,626,465	0	—
観光事業補助金	広島市	0	60,823,160	60,823,160	0	—
管理運営補助金	広島市	0	72,303,157	72,303,157	0	—
合 計		0	196,752,782	196,752,782	0	

附 属 明 細 書

1 基本財産の明細

財務諸表に対する注記の「2 基本財産の増減額及びその残高」において記載しているため省略する。

2 引当金の明細

引当金の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	81,657,879	7,647,596	196,862	0	89,108,613
賞与引当金	9,421,470	9,682,765	9,421,470	0	9,682,765

財 産 目 録

令和4年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金 額
(流動資産)	現金・預金	普通預金	広島銀行大手町支店	運転資金として	45,973,858
			広島信用金庫八丁堀支店	＃	5,061,403
			もみじ銀行広島中央支店	＃	7,999,591
			広島市信用組合本店営業部	＃	562,039
		定期預金	広島信用金庫八丁堀支店	＃	3,000,000
	前払金	退職共済積立金及び駐車場賃借料		職員の退職共済積立金及び公用車駐車場賃借料	110,000
	貯蔵品	郵便切手・収入印紙等		事業・運営に使用する資産	155,711
流動資産合計					62,862,600
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	第 5 1 回利付国債	満期保有目的の共用財産であり、運用益の 8 8 . 7 % を公益目的事業に、 5 . 5 % を管理運営に、 5 . 8 % をその他事業に供している。	45,433,280
			第 1 0 9 回利付国債	＃	295,413,000
			第 1 2 1 回利付国債	＃	296,391,000
			第 1 5 9 回利付国債	＃	80,601,480
			第 1 6 4 回利付国債	＃	59,676,000
			第 1 7 4 回利付国債	＃	194,530,000
		定期預金	広島市信用組合本店営業部	共用財産であり、運用益の 8 8 . 7 % を公益目的事業に、 5 . 5 % を管理運営に、 5 . 8 % をその他事業に供している。	5,755,240
	その他固定資産	車両運搬具	車両 2 台	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している。	1,370,510
		什器備品	パソコン 2 台、歓迎用看板土台 1 基、スーツケース 2 個	＃	5
		電話加入権	電話 8 回線	共用財産であり、 8 8 % を公益目的保有財産として公益目的事業に、 7 % を管理運営に、 5 % を収益等事業に供している。	446,920
	固定資産合計				
資産合計					1,042,480,035
(流動負債)	未払金	厚生労働省年金局（広島東）ほか	令和 3 年度社会保険料等の未払分	35,931,148	
	未払消費税等	広島東税務署	令和 3 年度消費税等の未払分	2,415,000	
	前受金	広告掲載業者	翌年度の賛助会費	30,000	
	預り金	役員、職員等	源泉徴収所得税等の預り金	2,480,164	
	賞与引当金	役員、職員	役員、職員に対する賞与支払いに備えたもの	9,682,765	
流動負債合計					50,539,077
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員 1 9 名に対する退職金の支払いに備えたもの	89,108,613	
固定負債合計					89,108,613
負債合計					139,647,690
正味財産合計					902,832,345

収 支 計 算 書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A)-(B)	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入				
① 基 本 財 産 利 息 収 入	12,964,000	13,124,078	△ 160,078	
(2) 会費収入				
① 賛 助 会 費 収 入	11,360,000	11,475,000	△ 115,000	
(3) 事業収入	5,830,000	1,413,803	4,416,197	
① 広 告 収 入	3,180,000	1,089,600	2,090,400	ホームページ広告収入等の減
② 負 担 金 収 入	2,650,000	324,203	2,325,797	トラベルマート出展料収入等の減
(4) 補助金収入				
① 広 島 市 補 助 金 収 入	247,864,000	196,752,782	51,111,218	コンベンション誘致助成金等の減
(5) 受託事業収入				
① 広 島 市 受 託 事 業 収 入	91,386,000	81,252,482	10,133,518	ホームページの運営等の減
(6) 雑収入				
① 雑 収 入	544,000	2,440,182	△ 1,896,182	敷金返還金収入等の増
(7) 貸付金返還収入				
① コンベンション開催準備資金貸付金返還収入	9,000,000	1,000,000	8,000,000	コンベンション主催者からの返還金の減
事業活動収入計	378,948,000	307,458,327	71,489,673	
2 事業活動支出				
(1) MICE振興事業費支出	127,657,262	84,702,026	42,955,236	
① 情 報 収 集 事 業 費 支 出	1,803,000	1,669,553	133,447	
② MICEの誘致・支援事業費支出	48,583,000	9,546,231	39,036,769	負担金、補助及び交付金等の執行残
③ 広 報 ・ 宣 伝 事 業 費 支 出	4,534,000	3,319,229	1,214,771	負担金、補助及び交付金等の執行残
④ 調 査 ・ 企 画 事 業 費 支 出	660,000	58,858	601,142	使用料及び賃借料等の執行残
⑤ 事 務 費 支 出	1,056,262	803,907	252,355	燃料費等の執行残
⑥ 人 件 費 支 出	71,021,000	69,304,248	1,716,752	福利厚生費等の執行残
(2) 観光振興事業費支出	95,363,000	82,582,751	12,780,249	
① 観光客の受入態勢整備事業費支出	3,511,000	1,351,425	2,159,575	使用料及び賃借料等の執行残
② 観光資源整備・開発事業費支出	2,865,970	1,396,080	1,469,890	負担金、補助及び交付金等の執行残
③ 観光宣伝・誘致活動推進事業費支出	10,610,000	4,519,880	6,090,120	委託料等の執行残
④ 事 務 費 支 出	1,452,030	1,102,182	349,848	通信運搬費等の執行残
⑤ 人 件 費 支 出	76,924,000	74,213,184	2,710,816	給料手当等の執行残
(3) 受託事業費支出				
① 観光施設管理運営等受託事業費支出	91,386,000	81,252,482	10,133,518	委託料等の執行残
(4) 貸付金支出				
① コンベンション開催準備資金貸付金支出	5,000,000	0	5,000,000	貸付件数減による未執行残

科 目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A)-(B)	備 考
(5) その他事業費支出	2,719,000	512,848	2,206,152	
① 賛 助 会 員 向 け 事 業 費 支 出	1,599,000	365,780	1,233,220	食糧費等の執行残
② 職 員 の 研 修 事 業 費 支 出	1,120,000	147,068	972,932	普通旅費の執行残
(6) 管理費支出	50,429,000	47,755,998	2,673,002	
① 会 議 費 支 出	386,000	224,790	161,210	使用料及び賃借料等の執行残
② 事 務 費 支 出	17,894,144	16,506,094	1,388,050	負担金、補助及び交付金等の執行残
③ 事 務 所 移 転 費 支 出	8,211,856	7,477,999	733,857	
④ 人 件 費 支 出	23,937,000	23,547,115	389,885	
事業活動支出計	372,554,262	296,806,105	75,748,157	
事業活動収支差額	6,393,738	10,652,222	△ 4,258,484	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
(i) 固定資産売却収入	0	50,000	△ 50,000	
① 車両運搬具売却収入	0	50,000	△ 50,000	
投資活動収入計	0	50,000	△ 50,000	
2 投資活動支出				
(i) 固定資産取得支出				
① 車両運搬具購入支出	1,393,738	1,393,738	0	
投資活動支出計	1,393,738	1,393,738	0	
投資活動収支差額	△ 1,393,738	△ 1,343,738	△ 50,000	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
(i) 借入金収入	5,000,000	0	5,000,000	
① コンベンション開催準備資金借入金収入	5,000,000	0	5,000,000	広島市からの借入金収入の皆減
財務活動収入計	5,000,000	0	5,000,000	
2 財務活動支出				
(i) 借入金返済支出	9,000,000	1,000,000	8,000,000	
① コンベンション開催準備資金借入金返済支出	9,000,000	1,000,000	8,000,000	広島市への借入金返済支出の減
財務活動支出計	9,000,000	1,000,000	8,000,000	
財務活動収支差額	△ 4,000,000	△ 1,000,000	△ 3,000,000	
IV 予備費支出	1,000,000	0	1,000,000	
当期収支差額	0	8,308,484	△ 8,308,484	
前期繰越収支差額	9,912,000	13,697,804	△ 3,785,804	
次期繰越収支差額	9,912,000	22,006,288	△ 12,094,288	

収 支 計 算 書 内 訳 表
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 事業活動収支の部					
1 事業活動収入					
基本財産運用収入					
基 本 財 産 利 息 収 入	11,641,057	761,198	721,823		13,124,078
会費収入					
賛 助 会 費 収 入	5,745,000	0	5,730,000		11,475,000
事業収入	1,413,803				1,413,803
広 告 収 入	1,089,600				1,089,600
負 担 金 収 入	324,203				324,203
補助金収入					
広 島 市 補 助 金 収 入	152,077,167		44,675,615		196,752,782
受託事業収入					
広 島 市 受 託 事 業 収 入	73,677,528	7,574,954			81,252,482
雑収入					
雑 収 入	562,010	172	1,878,000		2,440,182
貸付金返還収入					
コンベンション開催準備 資金貸付金返還収入	1,000,000				1,000,000
事業活動収入計	246,116,565	8,336,324	53,005,438	0	307,458,327

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
2 事業活動支出					
MICE興事業費支出	84,702,026				84,702,026
情報収集事業費支出	1,669,553				1,669,553
MICEの誘致・支援 事業費支出	9,546,231				9,546,231
広報・宣伝事業費支出	3,319,229				3,319,229
調査・企画事業費支出	58,858				58,858
事務費支出	803,907				803,907
人件費支出	69,304,248				69,304,248
観光振興事業費支出	82,582,751				82,582,751
観光客の受入態勢整備 事業費支出	1,351,425				1,351,425
観光資源整備・開発事業費支出	1,396,080				1,396,080
観光宣伝・誘致活動推進 事業費支出	4,519,880				4,519,880
事務費支出	1,102,182				1,102,182
人件費支出	74,213,184				74,213,184
受託事業費支出					
観光施設管理運営等 受託事業費支出	73,677,528	7,574,954			81,252,482
貸付金支出					
コンベンション開催準備 資金貸付金支出	0				0
その他事業費支出		512,848			512,848
賛助会員向け事業費支出		365,780			365,780
職員の研修事業費支出		147,068			147,068
管理費支出			47,755,998		47,755,998
会議費支出			224,790		224,790
事務費支出			16,506,094		16,506,094
事務所移転費支出			7,477,999		7,477,999
人件費支出			23,547,115		23,547,115
他会計への繰入金支出					
公益目的事業会計等への 繰入金支出					
事業活動支出計	240,962,305	8,087,802	47,755,998	0	296,806,105
事業活動収支差額	5,154,260	248,522	5,249,440	0	10,652,222

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
Ⅱ 投資活動収支の部					
1 投資活動収入					
固定資産売却収入	50,000				50,000
車両運搬具売却収入	50,000				50,000
投資活動収入計	50,000				50,000
2 投資活動支出					
固定資産取得支出	1,393,738				1,393,738
車両運搬具購入支出	1,393,738				1,393,738
投資活動支出計	1,393,738	0	0	0	1,393,738
投資活動収支差額	△ 1,343,738	0	0	0	△ 1,343,738
Ⅲ 財務活動収支の部					
1 財務活動収入					
借入金収入	0				0
コンベンション開催準備 資金借入金収入	0				0
財務活動収入計	0	0	0	0	0
2 財務活動支出					
借入金返済支出	1,000,000				1,000,000
コンベンション開催準備 資金借入金返済支出	1,000,000				1,000,000
財務活動支出計	1,000,000	0	0	0	1,000,000
財務活動収支差額	△ 1,000,000	0	0	0	△ 1,000,000
Ⅳ 予備費支出					0
当期収支差額	2,810,522	248,522	5,249,440	0	8,308,484
前期繰越収支差額	4,571,860	20,809,013	△ 11,683,069	0	13,697,804
次期繰越収支差額	7,382,382	21,057,535	△ 6,433,629	0	22,006,288

収 支 計 算 書 に 対 す る 注 記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、貯蔵品、未払金、未払消費税等、前受金及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目		前期末残高	当期末残高
資 産	現金預金	54,346,978	62,596,889
	未収金	0	0
	前払金	30,000	110,000
	貯蔵品	224,595	155,711
	合 計	54,601,573	62,862,600
負 債	未払金	36,968,555	35,931,148
	未払消費税等	1,407,100	2,415,000
	前受金	0	30,000
	預り金	2,528,114	2,480,164
	合 計	40,903,769	40,856,312
次期繰越収支差額		13,697,804	22,006,288

監 査 報 告 書

公益財団法人広島観光コンベンションビューロー
理事長 池 田 晃 治 様

令和4年5月16日

公益財団法人広島観光コンベンションビューロー

監 事 吉 岡 敬 司 

監 事 広 中 正 紀 

私たち監事は、令和3年度公益財団法人広島観光コンベンションビューローの会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表及び財産目録等の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、監事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。